

発熱・倦怠感がある場合

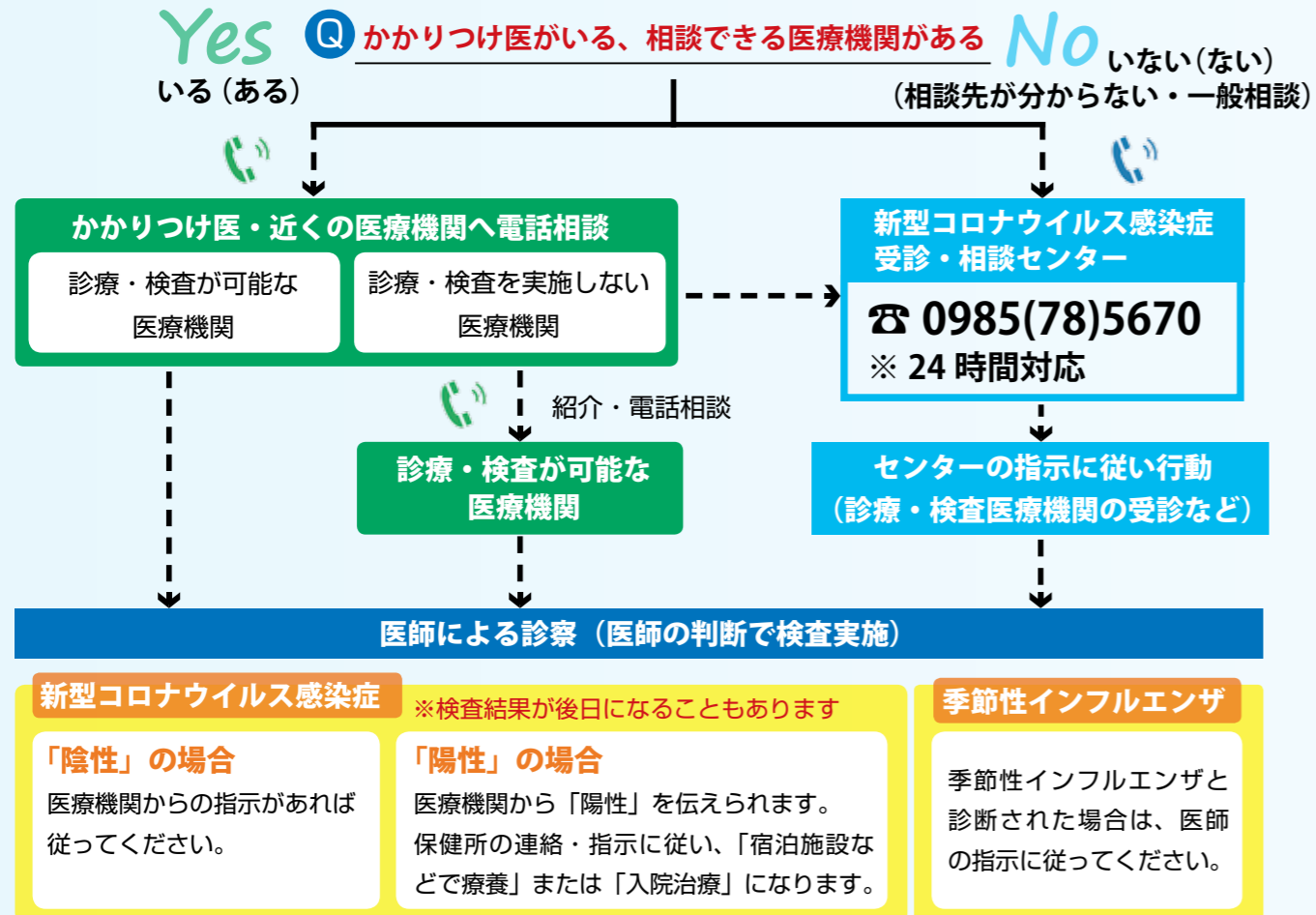
新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの流行に備えて、発熱などの症状があるときは、以下のとおりに受診をお願いします。

また、できる限り平日昼間の相談・受診にご協力ください。

発熱などがあるときの受診

- 発熱などの症状があり、受診を希望するときは、**身近な医療機関（かかりつけ医など）に電話で相談**しましょう
- 医療機関（かかりつけ医など）が受診可能なときは、受診する前に時間帯や入口などを案内されますので、その**指示に従って受診**しましょう
- 医療機関（かかりつけ医など）から**他の医療機関を案内された場合は、案内された医療機関に電話相談**したうえで受診しましょう

発熱・倦怠感などがある人の相談・受診の流れ

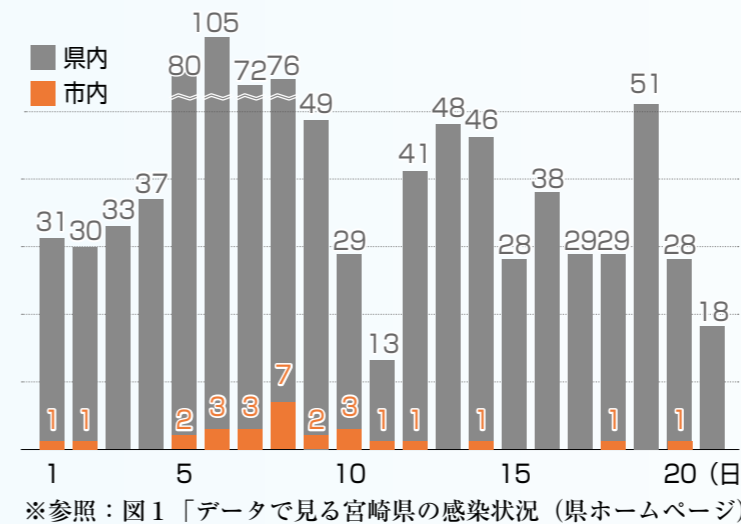


- 受診の際の注意**
- 受診前に必ず**電話相談**をして、**来院時間を決定**してください
 - 来院時間を守り、**マスクを着用**して受診してください
 - できる限り**公共交通機関以外**を利用して受診するようにしてください
 - **2週間以内の県外滞在などの行動歴**があれば伝えましょう

感染症予防の徹底を！

感染者の急増をうけて、県は1月7日に「県独自の緊急事態宣言」を発令、また1月20日に2月7日を目途とした延長を決定しました。引き続き「うつらない・うつさない」ための対策をお願いします。

【図1】 1月の県内・市内の感染者数（21日時点）



県から緊急事態宣言発令中のお願い

- ・人と人との接触機会を、極力減らそう。
 - ・移動はなるべく日常生活の範囲内とし、外出はできる限り短時間で混雑避けて。
 - ・会食はいつもすごしている方と。
 - ・特に、高齢者施設や医療機関で働く人が会食等をする場合は慎重に判断。いつも一緒にいる身近な人と。
 - ・高齢者の方々は、感染すると重症化リスクが高まります。会食等は感染防止対策を徹底し、一緒にいる身近な人と。
- ※発令解除後も感染予防策を徹底ください

感染症予防のために 手洗いと手指消毒を徹底

水とハンドソープで、ウイルスは減らせます！

(参考文献) 森功次他：感染症学雑誌 .80:496-500(2006)



感染症の感染経路として飛沫感染のほか接触感染があげられます。接触感染はウイルスのついた手などで目や鼻、口などの粘膜部分に触ることで感染することが多いのです。

正しい手の洗いかた

(引用) 厚生労働省：感染症対策パンフレット



接触感染の効果的な予防対策として「手洗い」および「手指消毒」を徹底ください。外出先からの帰宅後だけでなく、こまめに行うよう心掛けてください。